

高温の温泉を「竹の力」で自然冷却

竹製温泉冷却装置「湯雨竹（ゆめたけ）」

旅館、温泉施設にて設置

「湯雨竹（ゆめたけ）」は、高温の温泉を冷却する装置で、木と竹だけで作られています。装置の一番上にある木製の樋に高温の温泉が注ぎ込まれ、樋からあふれた温泉は多段に設置された竹枝にかかり、竹枝を伝わることで水滴状に分散されます。このとき表面積が一気に増え、増えた表面積から高温の温泉が蒸発し、その際「気化熱」と呼ばれる大量の熱量が奪われます。そのためわずか数秒で、数十度の温度低下が実現します。

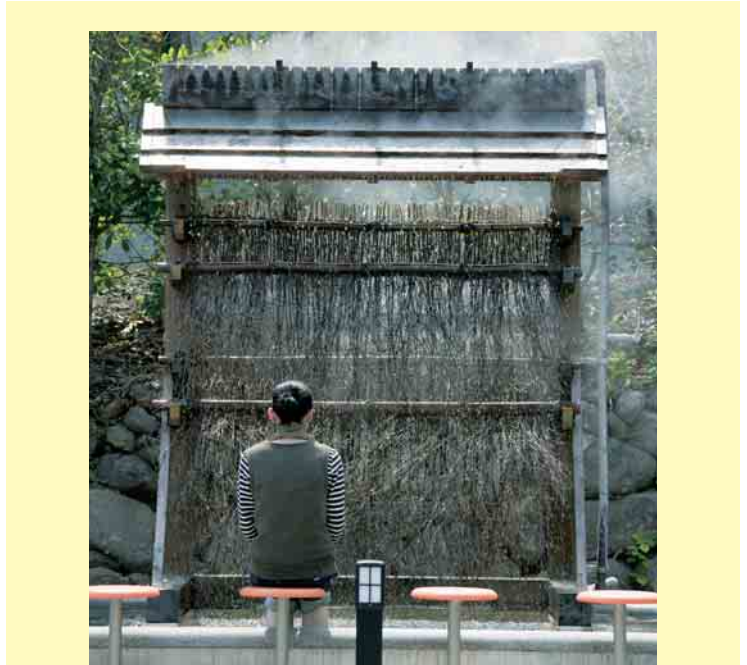
セールスポイント

- 平成16年度、大分県の先導型共同研究事業で、大分県産業科学技術センター・大分県竹工芸訓練支援センターと弊社の共同で、「湯雨竹」の研究開発を行う。
- 平成17年4月、大分県と弊社の共同で実用新案を出願。
- 平成19年度第4回大分県ビジネスプラングランプリにおいて「優秀賞」を受賞。
- 従来の温泉冷却装置と「湯雨竹」の比較
※従来の温泉冷却装置…熱交換器やクーリングタワー
従来品

- ・イニシャルコスト（設置費用）が高い
- ・腐食やスケール付着など、メンテナンスに労が多い
- ・機械であり、見て楽しい気持ちになれない
- ・加水をすると「源泉100%の掛け流し」と言えない
- ・加水の際に水道代が必要

「湯雨竹」

- ・天然素材の木と竹だけで作られているのでコストが安い
- ・温泉による腐食の心配がない
- ・好印象な外見は、お客様が見ても面白さや癒しにつながる
- ・加水のための水道代不要で、源泉100%の掛け流しが実現



設置例



雲仙荘様（長崎県雲仙市）設置例



四季彩の湯様（大分県杵珠郡）設置例



奥湯の郷様（大分県由布市）設置例

経営者の一言

代表取締役社長
河野 純一

大分県は竹が特産品であると同時に温泉王国です。特に別府は日本一の温泉湧出量を誇る温泉都市でもあります。その別府から竹で温泉を冷却する装置が生まれたことは、大きな意味があると思います。また、温泉を自然の力で冷やすこの装置は、単に環境に優しいだけでなく、現代人の心の癒しになるものを持っていると思います。いつの日か、日本各地で「湯雨竹」が温泉を冷やしている風景が見られることを心に描いて、営業を行っていきたいと思います。

業 種 温泉観光業
代 表 者 代表取締役社長 河野 純一
設 立 昭和37年
資 本 金 3,000万円
従業員数 19人
所 在 地 〒874-0042 大分県別府市鉄輪159-2
T E L 0977-66-0527
F A X 0977-66-0799
e-mail hyotan-onsen@muse.ocn.ne.jp
U R L http://www.hyotan-onsen.com/

事業内容 ●天然温泉を使った日帰り入浴施設「ひょうたん温泉」の経営
●竹製温泉冷却装置「湯雨竹（ゆめたけ）」の販売

工場見学…可能
インターンシップの受け入れ…不可

※内容は平成21年3月時点